

国鉄「分割・民営化」阻止ノ三里塚二期着工粉碎ノ

# 「暴力事件デッチ上げ」弾劾 「本部」土屋一派による「4・7」

全組合員・家族のみなさん！ 全国のたたかう仲間のみなさん！ 動労「本部」革マル・松崎と「千葉地本」土屋一派は、「暴力事件」なるものをデッチ上げ、わが動労千葉の二名の組合員を権力に告訴した。「暴力事件」なるものは百パーセントのデッチ上げであり、当局、権力と一体となった悪質な組織破壊攻撃である。われわれは、煮えたる怒りと重大な決意をこめて、動労「本部」革マルを弾劾し、職場から一人残らず一掃するまで闘いぬくことを決意する。

## 百パーセントデッチ上げ

土屋粹のデッチ上げはこうだ。  
四月七日、銚子運転区第九仕業で幕張電車区に入区した土屋は、動労千葉組合員に「暴力」をふるわれ、「手帳やシャープペンシルをとられた」というのである。  
土屋粹のデッチ上げを受けた革マル・松崎は、直ちに本社と読売新聞にタレこむとともに、四月九日には記者会見を行い、動労千葉の組合員二名を「傷害・威力業務妨害罪」で千葉西署に告訴したのである。  
その上で、四月九日、動労革マルは当局に対し「申三号」をもって、

- ①当事者に最高処分を下げ ②動労千葉の温床となっている幕張電車区を廃止せよ ③職場の管理体制を強化せよ、などと申し入れたのだ。

## 土屋粹は答えてみる

動労革マル・松崎と土屋粹の「暴力事件」なるものは百%デッチ上げである。動労千葉の組合員は「暴力」などふるっていないし、手帳やシャープペンシルなどとはっていない。  
土屋粹よ！ そのことはお前が一番よく知っているはずだ。  
土屋粹よ！ 次のことに答えてみる。

第一、四月七日に「全治三週間の暴力」を受けながら、当日は最後まで勤務（銚子まで乗務）し、九日になって病院へ行

き、診断書をとったこと。

第二、診断書は「打撲傷」などではなく「椎間板性腰痛症」となっており、かつて同一病名で病欠をとっているように土屋の持病であること。

第三、病院に行き「全治三週間」の診断書もらいながら、四月八日も九日も勤務していること。

第四、手帳とシャープペンシルは、土屋が乗務員詰所で休んだ時に畳の上に置き忘れ、後でこれを見つけた館山運転区の乗務員が銚子運転区の乗務員に手渡したこと。

これだけで「事件」がデッチ上げであることの証明は十分だ。

## 権力の手を借りた 動労千葉破壊攻撃

動労革マル・松崎と「千葉地本委員長」土屋の狙いは明らかだ。  
分割・民営化攻撃の先兵となって動労千葉をつぶそうとした動労革マルは、動労千葉のほぼ全員が新会社になだれこみ、意気健昂と闘いぬいていることに消耗し「暴力事件」をデッチ上げ、権力の手を借りることにより動労千葉をつぶそうとするものであり、第二の「六・一二事件」である。

われわれは、動労革マルの暴挙を断じて許さない。デッチ上げにより、労働者を権力に売りわたす輩は職場から叩きだすまで徹底的に闘いぬくことを宣言する。

全組合員・家族の強固な組織破壊攻撃を粉碎せよ！